



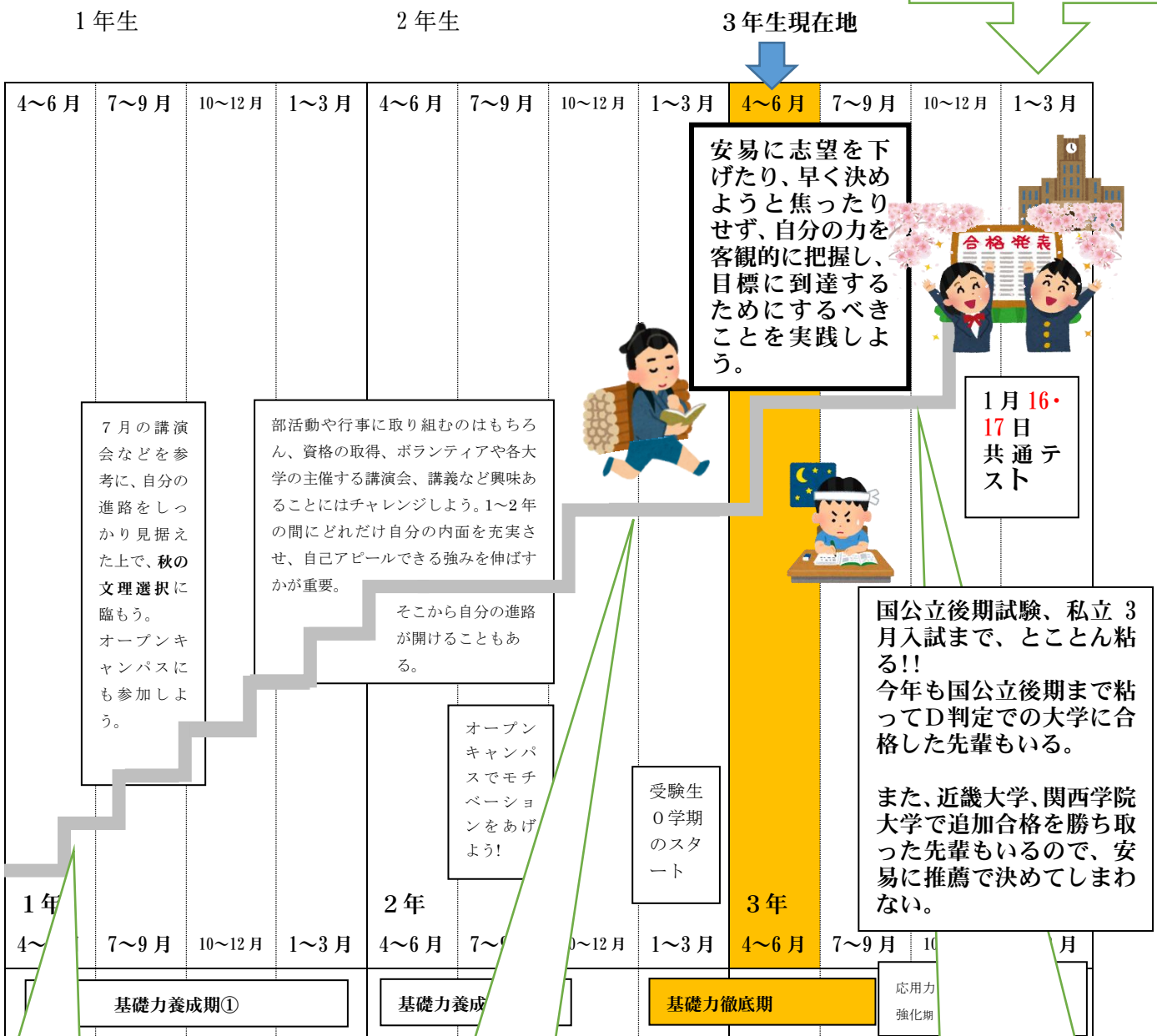
ピンチをチャンスに変えよう

いよいよ新学期が始まり受験生としてのスタートをきろうという時期に、学校に来られない事態になってしまいました。もちろん今は自分や周囲の人々の命を守ることが最優先ですが、入試は待つてはくれません。この期間にしっかりと自分の進路について考え、また、自分の学力を客観的に把握し、志望校に受かるための具体的な取り組みを始めましょう。学校でクラスメイトと勉強し、担任に進路の相談ができないピンチを、自己を見つめ「自ら進んで勉強に取り組むことができる受験生」になるためのチャンスに変えましょう。

【大学受験までの3年間と大学受験の意味】…今、何をすべき時期か…

1・2年の時期に自分の本当にやりたいこと、したい仕事についてしっかりと考え、高校3年生の3月まで粘って自分の力を最大限に伸ばし、勝ち取った大学こそが、自分の進むべき大学です。大学受験を単につらいもの、大学に受かりさえすればよいものとするのではなく、自分の人生について真剣に考え、学力だけでなく精神力を鍛える最高の機会であり、今後の皆さんの人生をより豊かにするためのものだと前向きに捉えて下さい。

本当にやりたいこと、したい仕事を考えて、早めに目標を設定することが一番大事!!



低学年は、やればすぐ結果がついてくる。結果が出れば、勉強も面白くなるはず。

だんだん、成果がでるまでの「溜め(スランプ)」が長くなるが、その時期を乗り越えると「飛躍」が。

3年の夏あたりまではなかなか努力しても模試成績に反映せずくじける人も多いが、夏の努力は秋以降実る。現役生は秋から冬にかけて、更には入試を経験しながら伸び続ける。

【2021年度入試 スケジュール】(河合塾 HP より)
 …入試の日程を把握した上で学習計画を…

2019.9月現在

	国公立大学		私立大学 短期大学	
	分離・分割方式	中期日程 (公立大学のみ)		
2020年				
7月	7月31日まで	選抜要項 (日程・定員・出題科目・時間・配点など) 発表		
9月		大学入学共通テスト 受験案内配付	総合型選抜	
		大学入学共通テスト 検定料等払込		
10月		大学入学共通テスト 出願		
11月			学校推薦型選抜	
12月	15日まで	募集要項発表		
2021年				
1月	1月16・17日	大学入学共通テスト (本試験)	出願	
	16・17日	大学入学共通テスト 正解等の発表		
		大学入学共通テスト 平均点等の中間発表		
	～22日	学校推薦型選抜 (大学入学共通テストを課さない場合) 結果発表		
		大学入学共通テスト 得点調整実施の有無の発表		
	23・24日	大学入学共通テスト (追試験・再試験)		
	25日～2月3日	2次 (個別) 試験 出願		
2月		大学入学共通テスト 平均点等の最終発表		一般選抜 (2月)
	～16日	学校推薦型選抜 (大学入学共通テストを課す場合)・総合型選抜結果発表		
	～16日	第1段階選抜の結果発表 (前期)		
	～22日	学校推薦型選抜・総合型選抜合格者の入学手続		
	25日～	前期日程試験		
3月	1日～10日 (国立は6日～)	合格発表	合格発表・入学手続	
	～3月3日	第1段階選抜の結果発表 (後期)		
	～15日	入学手続		
	12日～	後期日程試験		
	20日～24日	合格発表		
	～27日	入学手続		
	8日～	中期日程試験		
	20日～23日	合格発表		
	～27日	入学手続		
	28日～	追加合格者発表 欠員補充第2次募集 出願・試験		
	～31日	入学手続 (第2次締切)		
4月		大学入学共通テスト 成績の本人開示		

※国公立大学の実施日程は、上記日程と一部異なる場合があります。詳細は各大学の募集要項等で確認してください。

※私立大学・短期大学の出願期日・試験日・合格発表日等は各大学で設定されています。

※私立大学の総合型選抜は夏以降、年間を通じて実施されています (原則9月以降出願スタート)。詳細は各大学の募集要項等で確認してください。

【先輩はこうして志望校に受かった!!】（「2020進路の手引き」より）



「受験を振り返って」

神戸大学 経済学部 経済学科

T. F

一年間の受験生活を振り返ってみても、何か特別なことをしてきたわけではないので、あまり参考になるようなことは書けません。特に大切だと思ったことをいくつか伝えようと思います。

一つ目は、基礎を大切にすることです。僕は、三年生の一学期まで基礎を馬鹿にして何となく問題演習に取り組んでいました。当然、得点も安定せず、夏休み前に神戸大学の国語の過去問を解いてみると、古文と漢文がほとんど分からず、添削していただいた先生から、まず古文単語と漢文句法を覚え直したほうがいいとアドバイスしていただきました。その言葉通り、夏休みに毎日単語と句法を暗記し続けた結果、二学期以降の模試などでは自信をもって解けるようになり、得点も安定してきました。これから本格的に受験勉強を始めていく三年生の皆さんには、もう一度、基礎ができているかを見直してほしいと思います。

二つ目は、問題演習が終わったら、しっかり復習をすることです。僕自身復習をすることが苦手で、定期テストや模試の復習を真面目にしたことはほとんどありませんでした。しかし、受験勉強を続ける中で、解説には解答の過程から重要な知識まで詰まっているということを実感し、演習と同じくらい復習にも時間をかけるようにしました。また、マーク式の問題でも、どこがどのように間違えているのか、どう直せば正しい選択肢になるのか、というように、誤った選択肢からも学べることはたくさんあります。多くの問題に触れることはもちろん大事なことです。それ以上に復習を意識して勉強に取り組むことが大事だと思います。

三つ目は、時間を意識して演習に取り組むことです。僕が初めてセンター試験の過去問を解いたときは、時間の短さに驚きました。特に数学は、苦手な科目だということもあって、最後まで解ききれたことは一度もありませんでした。しかし、時間を意識して演習していくことで、時間感覚を体感し、自分に合った時間配分を考えていくことができるようになると思います。最初は難しいかもしれませんが、徐々に慣れていってほしいと思います。

僕が受験勉強を通して実際にやってきたことは、主にこの三つのことです。基礎が固まれば演習をして復習し、抜けていた知識は基礎に戻って覚え直すということを繰り返していました。今回の結果だけ見れば、もともと勉強ができていたからこんなに偉そうなことが言えるのではないかと思う人もいるかもしれませんが、実際は、三年生の一学期まで模試の結果はE判定ばかりでした。それでも、基本的なことを疎かにせず、最後まで続けてきたことで、少しずつ成績も上がり、合格できたのだと思います。

今、D判定・E判定でも諦める必要は全然ないと思います。最後の最後まで粘り強く続けていけば、合格できるチャンスはいくらでもあります。志望校に合格できるように、残りの受験生活を頑張ってください。

【今、是非取り組むべきこと2点】…「自ら進んで考え行動する力」身につける…

I 勉強について…先輩の合格体験記から

① 基礎を大切にすること

② しっかり復習すること

大学入試は1・2年で培った基礎力がなければ対応できません。逆に言うと1・2年で学んだ内容が身につけていれば、受験生として余裕を持ってスタートが切れるということです。

ただ、課題テストの採点をしていると、授業で何度も繰り返したはずの基礎知識を覚えていない人が多いようです。それは、授業でも課題でも自ら覚えようとせずただ聞いていただけだからではないでしょうか。この期間に、これまで使った授業ノート、問題集、模擬試験などの総復習に、自ら進んで覚えよう理解しようと意識して取り組みましょう。自主的に学ぶ姿勢を身につけることが今の最大の課題です。

③ 時間を意識すること

「入試は時間との勝負である」と言いますが、これには2つの意味があります。1つ目は先輩が書いているように、制限時間内に問題を解かなければならないという意味ですが、2つ目は入試の日に間に合うように計画的に受験勉強に取り組まねばならないということです。この期間に、【1】の2年生の現在地で何をなすべきかを確認し1年後を見据え、また自分の今の実力を客観的に把握した上で、基礎知識を復習するための学習計画を具体的に(どの科目、分野を重点的に取り組むか、どの教材を使い1日にどれだけの量を覚えるか)立てましょう。

★「3点固定」で規則正しい毎日を送る。

通常、「3点固定」とはしっかりと家庭学習を組み込んだ規則正しい生活をおくるために「①起床時間・②家庭勉強開始時間・③就寝時間」を固定することをいいますが、今は、「①起床時間、②授業を想定した学習開始時間+家庭学習の開始時間、③就寝時間」を固定しましょう。もちろん、学習時間の中には進路を考える時間など、今しかできないことも含めて考えましょう。

とはいえ、悪い習慣と比べて良い習慣は身につけにくいものです。まず3日続けてみましょう。「三日坊主」という言葉があるように、3日がやめなくなるピーク。ここで踏ん張って1週間から10日続ければ、慣れてきて効果が現れるので、やめたらもったいないと思い、続けることができます。

II 目標の設定に際して…広い視野で志望校を考える…

「自分の進路は自分で決める」という気概は重要ですが、早めから保護者の方の意見も聞いてよく相談しておきましょう。また、自分一人で考えると視野が狭くなったり、友達同士での相談では安易な選択に流れがちだったりしますので、担任の先生と相談しながら、進路を考えることが重要ですが、ただ、現状では面談の実施が難しいので、まずは志望校についての情報を集めておきましょう。

2年の3学期に書いた志望理由書の内容をより深め、3年後のみならず10年後、20年後に自分が社会とどうかかわって生きていくかをじっくりと考えるための時間を持ってください。

① 大学のHPを調べる

大学のHPでは、取得可能な資格、卒業後の進路、学べる内容、教育制度、学費・奨学金、受験科目などを知ることができます。第一志望大学だけではなく、実力相応校、地方の大学など幅広く大学の内容を調べてみましょう。

同じ学科でも学べる内容が大学によって違いますので、比較してみると志望校の幅も広がります。

私立大学を第一志望としている人も、三教科で受験できる地方公立大学もありますので視野に入れてみてください。

学びたい学問から大学を探すには「逆引き大学辞典」のサイト <https://www.gyakubiki.net/>が便利。

② 夢ナビライブ講義動画を視聴する

昨年視聴を申し込んだ人は、2,800本以上の講義動画から自分の興味ある分野の講義を聴くことができます。自分の学びたい学問分野を再確認し、受験に向けてのモチベーションをアップするには最適です。また、申し込んでいない人も <https://frompage.jp/douga/pr/>や https://www.youtube.com/channel/UCPkNae-Qt5n4p-r6iU_A1Fw で視聴できる動画があります。



③ 家族の方と相談する

この時期は、自分がどんな進路を考えているかを家族の方と相談できるよい機会です。自分が考えていることや大学について調べたことを話したり、家族の方が考えている進路についての条件を聞いたりして十分な話し合いをしておきましょう。